

経営比較分析表（平成28年度決算）

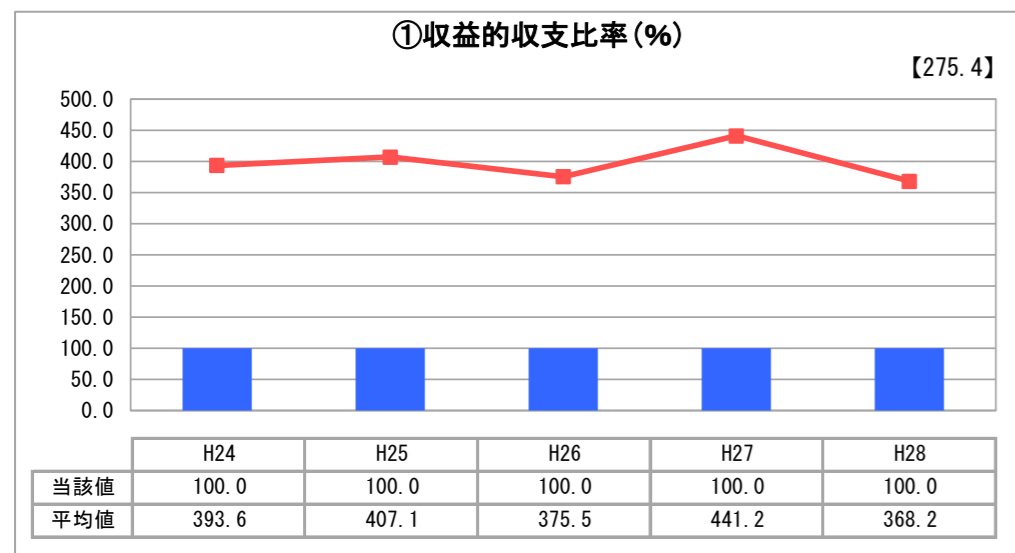
福井県鯖江市 鯖江駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	17	

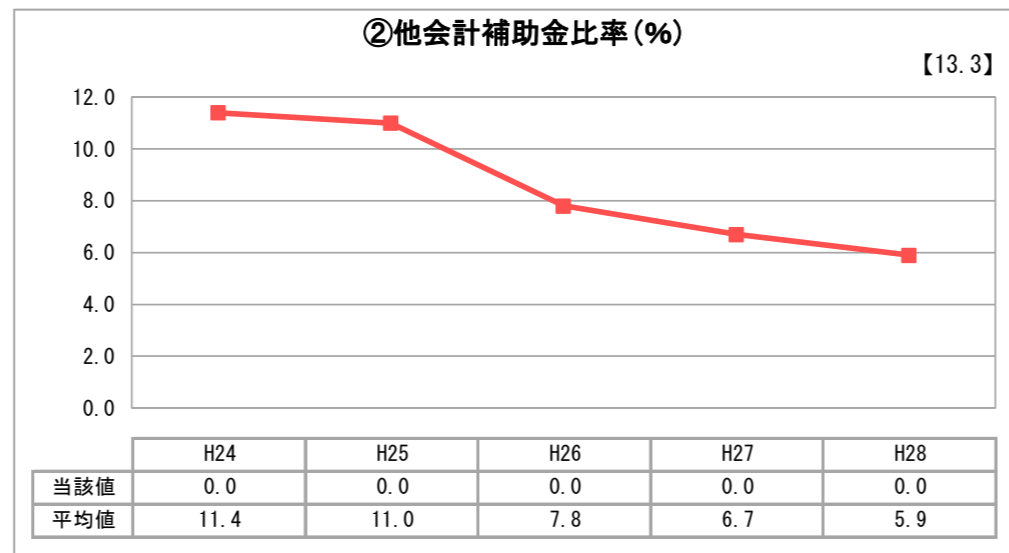
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,152
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

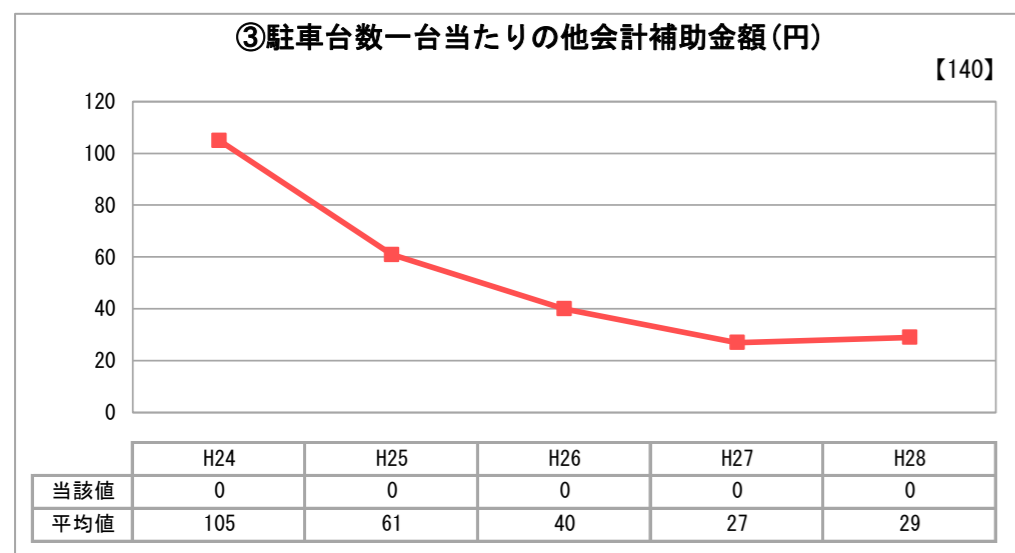
1. 収益等の状況



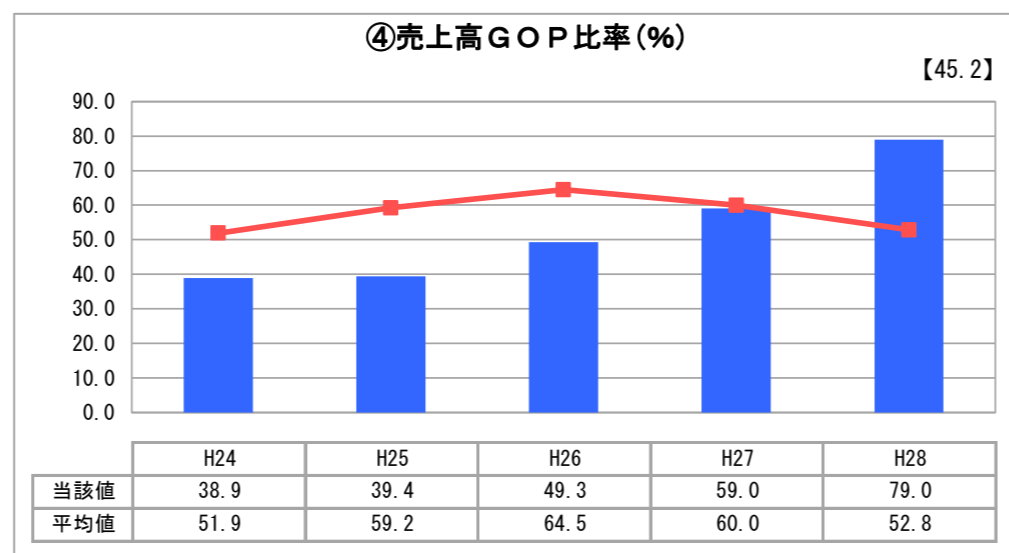
「経常損益」



「他会計補助金割合」

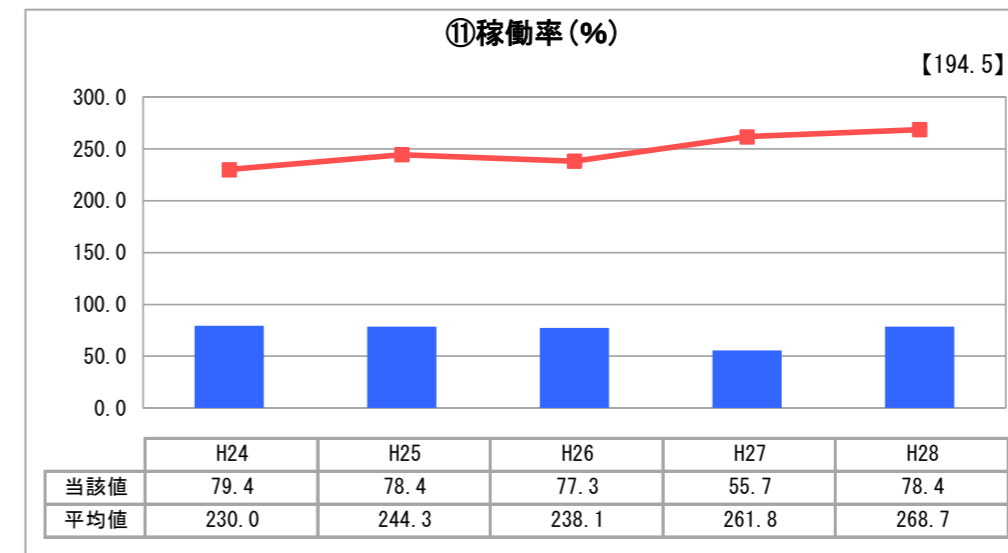


「他会計補助金額」

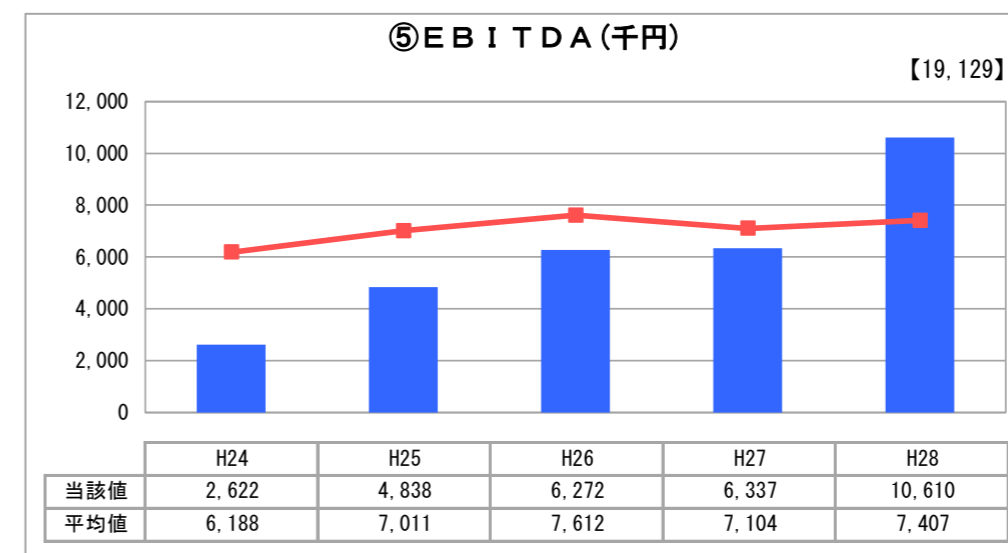


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

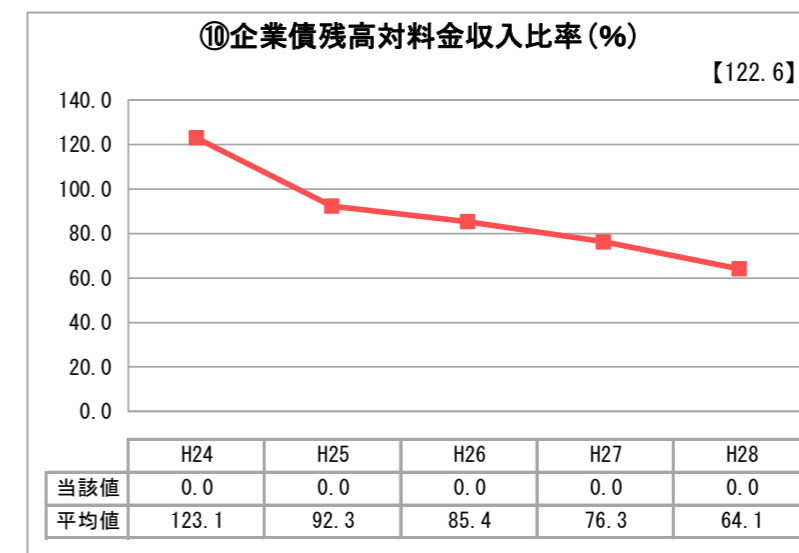
27

⑧設備投資見込額(千円)

6,370



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 収入については一般会計上に繰り出しをしており、経営的収支比率は100%となっている。他会計からの補助金、繰入は行っていない。売上高GOP比率、EBITDAについては、近年増加傾向にある。要因としては、①営業費用の算出方法をH28年度に見直しを行ったこと②駐車場の料金収入の増加が挙げられる。施設単体としては平均値を上回っているが、近隣の駐車場2カ所を含めた場合、平均値以下となり、概ね健全な水準であると言える。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れはない。現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、計画的な機器の更新が必要がある。また一部フェンスは、平成28年度に改修を行った。今後、平成29年度に機器の塗り替え、テントの張替えを予定している。建設から年数が経つにつれて、舗装等についても老朽化は進むことから、状態を見て対応する必要がある。

3. 利用の状況について
 稼働率が低い要因として、駅通勤者、遠距離利用者が多いため、1回の利用時間が長いことが挙げられる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるよう視野に入れる。利用実態として、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括
 駐車場の収益は平成24年度から増加傾向にあり、利益を上げて運営ができていますが、日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、支出減の経営努力を重ねる。また設備の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。